

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 港北支部 防災訓練記録簿

| | | | |
|---|--|-------------------------------|--------------------|
| 拠点場所 | 横浜市立篠原小学校 (拠点番号 4) | | 記入者: 7N1NHF 森 |
| 実施日時 | 平成17年11月27日(日曜日) | 集合時間: 8:30 | 解散時間: 11:00 |
| 訓練全体の概要 | (1)地域防災拠点運営委員会が中心となって、住民一人ひとりが震災時の対応を身に付けるとともに地域・行政との連携を図る。 (2)防災に関する基礎的な知識を得たり、防災資機材の取扱を体験する。 | | |
| 参加団体 | 3自治会(富士塚、篠原東第2・第3、)、4町内会(錦が丘、表谷町、泉が丘、ふじ町)、港北区役所 港北消防署、港北消防団(第2・第3分団)、篠原小学校、家庭防災員 鈴木恒夫衆議院議員、島村正県会議員、大山市議会議員 | | |
| 非通協参加者 | 今野 JF1CFK、川上 JP1ILU、中山 7N4TBV、松崎 JA1HLW、山岡 JA1LSG、 佐藤 7L1NGF、加藤 7K1FRK、森 7N1NHF 以上現地8名、仮本部/斉藤 JH1WBG 本番担当: 森 7N1NHF 区本部担当: 斉藤 JH1WBG | | |
| 設備点検 | アンテナ・三脚 同軸関係 無線機 電池 電源 ファイル その他 電池交換、アンテナ用蝶ネジと仮ファイル配備 | | |
| 進行状況 | 時間 | 内容 | 備考 |
| | 8 : 0 | 運営員会本部員集合、開設準備(非常通地区担当者含む) | |
| | 8 : 30 | 非常通集合、無線機器設営(非常通信用、HF) | |
| | 9 : 0 | 避難訓練、本部人員報告。避難人員計 400名 | |
| | 9 : 10 | 避難所開設訓練、避難場所開設宣言(9:15) | |
| | 9 : 16 | 開会、来賓挨拶、関係者紹介 | |
| | 9 : 26 | 非常通信説明(講習会勧誘含む)、訓練本番、人員状況報告 | 森7N1NHFが説明。 |
| | 9 : 35 | 会場準備(防災機材の組立)、 | トイレ組立 |
| | 9 : 45 | 活用訓練(濾過器、投光器、移動式炊飯器、発電機、ジャック) | |
| | | 応急救護訓練(三角巾による応急手当、担架搬送、心肺蘇生) | 3班に分かれて実施 |
| | 10 : 30 | 初期消火訓練(消火器による消火訓練)、煙訓練 | |
| | 9 : 50 | 非常通信用機器説明(自治会町内会情報伝達担当を中心) | 今野JF1CFKが担当し、森が補佐。 |
| | : | 講習会受講の勧誘 | |
| | 10 : 35 | 消防団による放水訓練 | |
| 10 : 45 | 訓練講評(港北消防署)、閉会 | | |
| 10 : 50 | 機材片付、物資搬送、配布訓練(水、乾パンの搬送配布) | | |
| 11 : 0 | 解散 | | |
| その他 特記事項 | HF移動運用(中山7N4TBVが主に担当) 講習会申込が3名(若林氏、永見氏、瀬川氏)、用紙持ち帰り5枚(各自治会町内会) 入会問い合わせ 1件(長井氏、昨年無線従事免許取得済み) | | |
| この記録簿は2部作成し、訓練拠点の無線設備収納箱のファイルに1部綴じておいてください。 もう1部は事務局に届けて保管し、今後の訓練の参考資料と致します。 | | | |